



KONICA MINOLTA

News Release

コニカミノルタ静岡、富士市が目指すテレワーク先進都市を支援 ～連携協定を締結し市内企業のテレワーク定着を後押し～

2021年7月16日

コニカミノルタ静岡株式会社（本社：静岡県静岡市、代表取締役社長 吐前 敏孝、以下 コニカミノルタ静岡）は、富士市（市長 小長井 義正）と富士商工会議所（会頭 牧田 一郎）、富士市商工会（会長 渡邊 英樹）の4者で、企業のテレワーク推進をより一層促進するため、「テレワーク推進に関する連携協定」を本日締結しました。本協定を通じて、コニカミノルタ静岡は、富士市が取り組むテレワーク先進都市の実現に向けた課題に協働で取り組み、自社実践で培ったノウハウを活用したサービスを提供し、企業のテレワーク導入、定着を支援していきます。

連携協定の目的

本協定は、市内事業者のテレワーク推進に係る業務課題の解決に向けた取組への支援、市への移住定住の実現に向けた取組、市内に在住し首都圏の企業に通勤されている方へのテレワーク環境の整備等に関し、市、支援機関及びコニカミノルタ静岡が相互の人的知的資源を活用し、密接に連携及び協力して、「富士市テレワーク推進ロードマップ」に基づく取組を進めることによる目標の達成及び新しい働き方環境形成を推進することを目的としています。

コニカミノルタ静岡は、コニカミノルタジャパンの子会社として2018年に静岡県の地域社会に寄り添う販売会社として設立されました。以降、オフィス情報機器、医療機器、計測機器などの販売、サービスの提供に加え、働き方改革の自社実践から得たノウハウを提供することで、企業のIT活用によるオフィスの働き方改革と生産性向上を支援してまいりました。

今回、これらのノウハウの提供や、「いいじかん設計」*1によるコンサルティングサービス、ソリューションの提供など、富士市、富士商工会議所、富士市商工会とコニカミノルタ静岡が連携することで、企業が抱えるテレワークの課題解決を一層加速させるべく、この度の連携協定締結に至りました。

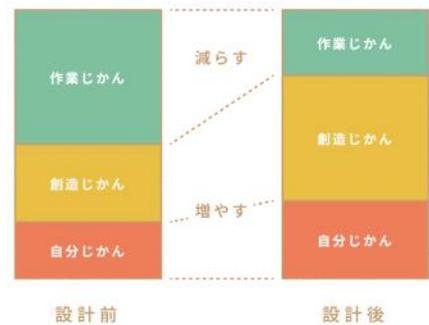
具体的な連携事項

- (1) 市及び支援機関が推進する市内企業へのテレワーク導入促進及び働き方改革の支援
- (2) 市が設置するテレワーク推進に係る施設の運用支援
- (3) 市が整備するテレワーク推進基盤の構築支援
- (4) 市及び支援機関が取り組むデジタル化推進に係る事項の支援
- (5) その他市、支援機関及びコニカミノルタ静岡が協議の上必要と認めること

*1：いいじかん設計について

コニカミノルタジャパンはこれまで、よりよい働き方とは何かを考え、自社実践を通じて得た知見をお客様にも提供してきました。「働き方改革」という言葉が一般的になった今、これまでの経験をもとに、私たちが目指そうとしている理想の働き方を実現するためのコンセプトが「いいじかん設計」です。働く人の時間を分解していくと、作業をコツコツこなす「作業じかん」、新しいアイデアを生み出す「創造じかん」、そして休み、育み、学び、視野を広げる「自分じかん」の3つがあると考えています。

一般的な働き方改革の考え方は、単に「作業じかん」を減らすことに注目しがちですが、それだけでなく、「創造じかん」や「自分じかん」といった、従業員の「いいじかん」を増やすことで、企業の生産性・創造性を高めていくことが重要であると考えています。<https://www.konicaminolta.jp/pr/ejikan/>



※1：「いいじかん設計」はコニカミノルタジャパン株式会社の登録商標です。

----- お問い合わせ先 -----

【お客様】

コニカミノルタ静岡株式会社

TEL：054-654-5511

【報道関係】

コニカミノルタジャパン株式会社 コーポレート本部 広報宣伝部

TEL：03-6311-9460